

窯作り11(ドーム部組立)

No70岐阜便りでは「円筒部」の製作を報告しました。今回は、「ドーム部」の製作過程の報告です。型枠は、ダンボールで製作しました。ペニヤ板で作成しようかと思いましたがダンボールの端面に掛かる耐荷重はうまく使えば「ベッドにもなる」と言う情報を信じて製作しました。実際の作業工程でも不安は全くありませんでした。



平行して製作した半円形のダンボールの型枠です。



予備を含め78個のドーム部に使用する手作りレンガ、煙突です。

一段目のレンガを設置。水平や隣のレンガとの隙間を寸法を確保しながら耐火セメントで積上げます。



一段目を完了。耐火セメント「アサヒキャスター」は練り後30分程度で固まりますので時間勝負

昨年冬に製作した鉄扉を設置し4段目を積み終えた所。



ダンボールの煙突部は穴を開けておきます。

最終段は、耐火セメント「型用アサヒキャスター」を流し込みます。

ドームの最上段に流し込んだ耐火セメントの形を整えているところ



煙突部を除いてドーム部は完成です。

煙突を付けて完成。煙突は、昔山で炭焼き用に使っていたコンクリート製の物を流用。

